

**結膜炎の診断技術について①**

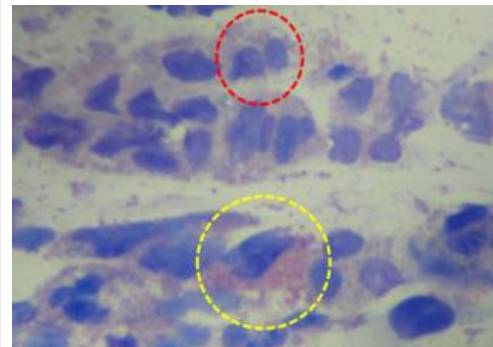
今年も残すところあと僅かですね。毎年の事なのですが、12月は患者さんの数が多く待ち時間が長くなりご迷惑をお掛けして大変申し訳ありませんm(\_\_)m。さて、今年最後のフジタガンカニュースですが、少し自慢めいた話で恐縮ですが…藤田眼科院長の私の得意分野の解説をしてみたいと思います。@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

ご存知の方も多いと思いますが、私が大学病院勤務時代に所属していたチーム(現代の眼科学では、「眼科」という専門科目の中に更に細分化された下階層項目があり…代表例が「網膜」「緑内障」「斜視」等という事になっています)は「角結膜(=前眼部)」と呼ばれるチームでした。つまり、結膜(しろめ)と角膜(くろめ)に関連する疾患全般が対象となるのですが、その代表選手が「ドライアイ」とか「角膜潰瘍」「角膜移植」という事になります。そうした中でも特に「結膜炎の診断」は個人的に得意としている項目です。中でも、特殊性の高い技術が「眼脂を用いた塗抹検鏡検査」といって、メヤニをとって特殊な液で染色して顕微鏡で拡大して調べて結膜炎の原因を探るというものです。一口に結膜炎といっても原因には様々なものがあり、①花粉症などのアレルギー反応②学校を休まなくてはならないほど伝染しやすいウイルス(≒強いバイキン)③バクテリア(≒弱いバイキン・日本語で「細菌」と呼ばれる)④ドライアイ⑤その他、と分類する事が出来ます。実際には明確な原因がわからないケースもあり、その場合には可能性の高い原因に対して二重に治療ができるような対処(①と③を疑えばアレルギーを抑える消炎剤と抗菌作用のある薬剤を二種類投与など)をする事も多いのですが、見分けがつけられるのであればそれに越したことはありません。簡易検査も様々なキットが保険適応となっていますので、そうした器具の助けも借りるのですが「塗抹検鏡の技術がある」という事は診断精度が上がるという事になりますので、そういう技術の無い先生方(おそらく八王子市内にこの検査を施行されている先生は私以外にはないと思います)に比べれば「優位性がある」といって良いと思います。

ちなみに僕がこうした技術を習得するに当たり苦労をした経緯については当院のホームページに詳細が説明してあります。良かったら参考にしてください。

<http://www.fujita-ganka.com/PDF/vol219.pdf>

ちなみに僕が主に用いているのはディフ・クイックという簡易染色でして、サンプルとして用いているのはほぼメヤニのみです。そして何を確認しているのかというと白血球の種類であり①好中球=バクテリア②好酸球=アレルギー③リンパ球=ウイルスというのが基本の大原則です。(実践的にはそれぞれの細胞の比率によって診断が決まってくるため一対一対応ではありませんが…)特に好中球と好酸球は双方とも顆粒を有するため慣れない



と判別が出来ません。僕の印象では好中球の顆粒は寿司ネタの「とびっこ」、好酸球顆粒は「いくら」って感じなんですけどね。(好酸球の顆粒の方が粒が大きくて、赤さが強いという事ですね)左の写真の赤点線で囲われているのが好中球、黄色点線で囲われているのが好酸球です。写真の解像度の問題もあり理解しにくいとは思

いますが…(▽▽)@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

誌面の都合で今回の…今年の…ニュースはココまで！続きは来年の次号をお楽しみに！

**今月のお知らせ**

では皆様、良いお年をお迎え下さいー(^^)／

以前にもお知らせしておりますが、非常勤の先生が診察を担当する日程は  
①毎水曜午後を朝岡亮先生(東京大学眼科講師・専門：緑内障)  
②第1・3(・5)週目の土曜を小竹修先生(八王子医療センター・専門：網膜疾患)となります。また、今年の年末・年始の休診予定は下表の通りです。今年もいよいよ年の瀬ですね。皆様何かとお忙しいとは存じますが、ご自愛くださいませm(\_\_)m。

**年末・年始休診スケジュール**

	12/27	12/28~1/4	1/5
AM	○	×	○
PM	×	×	○

※ ×…休診 ○…通常診療



<http://www.fujita-ganka.com>

FUJITA-EYE-CLINIC  
**藤田眼科**  
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)  
**P-Vision**

① **042 (645) 0575**  
① **042 (642) 2911**